

ワークショップ

企画展「アーミッシュ・キルトを訪ねてーそこに暮らし、そして世界に生きる人びと」関連

応募方法

ワークショップへ参加ご希望の方は、申込フォームまたは往復ハガキにてご応募ください。

※一度のご応募で、1つのワークショップのみの受付となります。

- ・ご応募いただいた方全員に、当館より結果をお知らせいたします。
- ・ご応募いただいた方の個人情報は、当館事業に関する目的以外では使用しません。

申込フォーム

6/21(木) 10:00から受付開始

みんぱくホームページ内にある、各ワークショップの申込フォーム画面にしたがって必要事項をご入力ください。

往復ハガキ

6/21(木) 到着分から受付開始

受付期間をご確認いただき、下記内容とハガキ返信面に代表者の住所・氏名をご記入のうえ、ご応募ください。

※消えるボールペンや鉛筆のご使用はお控えください。

◆体験ワークショップ「パッチワーク・キルトのある生活」

※応募者多数の場合、抽選とさせていただきます。

応募締切
7/2(月)
必着

- 1 参加希望ワークショップ名「体験ワークショップ」
- 2 代表者の氏名、住所、電話番号(緊急連絡先)
- 3 参加希望時間(A or B) ※第2希望まで応募可能
- 4 参加希望人数(ハガキ1通につき2名まで)
- 5 参加希望者全員の氏名(ふりがな)、年齢

◆夏休みこどもワークショップ「キルト その世界の不思議を考える」

※ご応募はハガキ1通につき1名までとさせていただきます。

※定員に達し次第、受付を終了します。

先着
12名

- 1 参加希望ワークショップ名「夏休みこどもワークショップ」
- 2 参加者氏名(ふりがな)
- 3 学年
- 4 性別
- 5 住所
- 6 電話番号(緊急連絡先)
- 7 保護者氏名

ご応募・お問い合わせ先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
国立民族学博物館 企画課「キルトのワークショップ」係
電話 06-6878-8532 (土日祝を除く 9:00~17:00)
FAX 06-6878-8242

6/21(木)
受付開始

ご利用案内

- 開館時間
10:00 ~ 17:00(入館は 16:30 まで)
- 休館日
水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)
- 観覧料
一般 420 円/高校・大学生 250 円/中学生以下 無料
*観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール.....
「万博記念公園駅」、「公園東口駅」徒歩約15分
- バス.....
阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車.....
万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
*高校・大学生・一般の方は自然文化園(中央口、西口、北口)窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
*小・中学生が自然文化園(有料区域)を通行される場合は、自然文化園(中央口、西口、北口)有人窓口で、みんぱくへ行くこととお申し出いただき、無料通行券をお受け取りください。
*東口からは、自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。
*東口または日本庭園前駐車場から来館し、自然文化園(有料区域)を通行してお帰りの場合は、同園入園料が必要です。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
企画課 博物館事業係
Tel: 06-6878-8532 Fax: 06-6878-8242
http://www.minpaku.ac.jp/

みんぱく

キルト

その世界の不思議を考える

—フィールドワークに挑戦！



キルトとは、2枚の布の間に綿などを挟んで糸で縫い合わせたものです。アーミッシュの人びとがつくるキルトには、生活用品としての役割だけでなく、さまざまな目的や思いが込められています。みんなくで1日研究者になって、キルトをとおしてアーミッシュの人びとの世界の不思議を考えよう！

展示場をフィールドワークして発見したことや、先生の解説からわかったことをまとめて、オリジナル報告書をつくります。

保護者の方へ
今回のプログラムは、展示場などのオープンスペースで実施しますが、子どもたちの自立心を尊重するために見学席を用意しておりません。子どもたちのフィールドワーク、成果物制作の手伝いはご遠慮ください。

申込受付期間 6月21日(木)から
定員に達し次第、受付を終了します。

成果物について
当日制作された成果物は、館内で展示したあと郵送にて返却いたします。

展示期間 8月3日(金)～8月12日(日)
返却時期 8月14日(火)頃から順次発送予定

講師 鈴木七美(国立民族学博物館 教授)

申込受付期間 6月21日(木)から

成果物について

当日制作された成果物は、館内で展示したあと郵送にて返却いたします。

展示期間 8月3日(金)～8月12日(日)

保護者の方へ

手伝いはご遠慮ください。



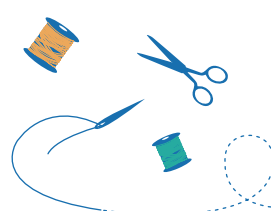
▲募金用キルトのキルトイングをするアーミッシュのボランティア



▲過去の夏休み子どもワークショップの様子▲



パッチワーク・キルトのある生活



アーミッシュの人びとの生活には、パッチワーク・キルトが深く関わっています。パッチワーク・キルトとは、どのようにしてつくられているのでしょうか。展示場でアーミッシュ・キルトを観察したあと、実際にパッチワークを体験します。パッチワークの技術をまなびながら、アーミッシュの人びとの生活や考え方にふれてみましょう。

パッチワーク・キルトは、幾何学模様のモチーフを組み合わせた「パターン」で構成されています。展示場でさまざまなパターンのキルトを観察したあと、アーミッシュの人びとがつくる古典的なパターンに挑戦します。



《センター・ダイヤモンド》



《バース》

日時 7月22日(日)

A 10時30分～12時00分(集合10時20分)

B 14時00分～15時30分(集合13時50分)

※各回同じ内容で実施します。

場所 本館第3セミナー室、企画展示場

対象 小学5年生以上

定員 各回20名(事前申込制)

参加費 5000円(別途展示観覧券が必要です)

持ち物 使い慣れた裁縫道具がある方はお持ちください。

※必要な道具はすべて当館でご用意いたします。

講師 黒羽志寿子(キルト作家)

鈴木七美(国立民族学博物館 教授)

申込受付期間 6月21日(木)～7月2日(月)必着

受付結果通知 7月6日(金)頃

※応募者多数の場合、抽選となります。

黒羽志寿子 ころはしすこ
(キルト作家)
1938年山口県生まれ。
1975年アメリカ在住中にキルトに出会う。帰国後全国でキルトサークルを主宰。藍染や更紗などの日本の布を使った作品が国内外で高く評価される。「黒羽志寿子のキルト 藍と更紗」(日本ヴォーグ社)をはじめ、最新刊として「Pieces of my Life」(Quiltmania、英仏語版)がある他、30冊を超える著書がある。



鈴木七美 すずきななみ
(国立民族学博物館 教授)

アメリカ合衆国の歴史の中で、人びとがどのように生活のしかたを選んできたかをテーマに研究しています。健康と植物や水とのふれあいや食事について考えた19世紀の植物治療運動や水治療運動、ヴェジタリアニズム(菜食主義)に関する研究をする他、現在も続くコミュニティとして、モラヴィア教徒やアーミッシュたちを訪ねてきました。